

# Gフレーム

## 取付説明書 – コンセント柱 –

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味


**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号


**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

### <施工の前に>


**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

## <施工上のご注意>

### ⚠ 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工工事の担当範囲に未施工箇所がないことを十分に確認したうえで、取付説明書を次工程の担当者に渡してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

## <基礎工事についてのご注意>

### ⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

## <電気配線工事について>

### ⚠ 注意

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の器具は、第3種接地工事を行なってください。
- AC100V用の配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線を含む）を別途準備してください。
- PF管は現場で別途手配してください。
- 接地工事は電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。

## ■梱包明細表

【1】コンセント柱セット

名称	略図	員数
コンセント柱		1
通気キャップ		2
グロメット		1
アンカー棒		2
取付説明書<E301>	—	1

【2】キャップセット

名称	略図	員数
柱キャップ		1

## 1. 基礎工事と配線工事

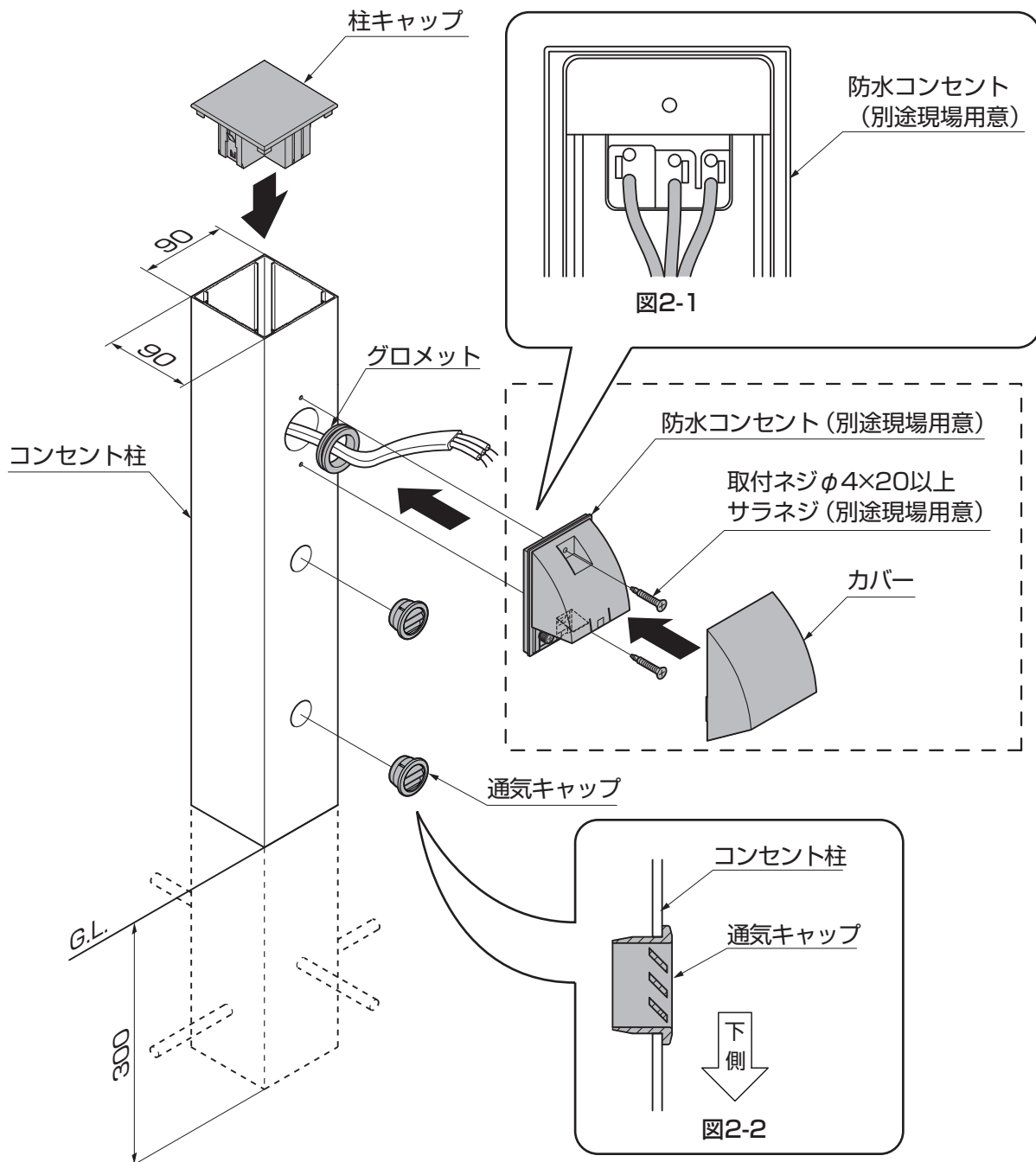
①基礎穴を掘り、基礎下に100mm厚のぐり石を敷いてください。

②配線配管をしてください。

**ポイント**

- 配管を柱の下から引込めない場合は、柱の下端部より100mm以内へφ27の穴をあけて配管を引込んでください。
- 配管はG.L.より100mm程度立上げ、雨水等が入らないようにしてください。
- アンカー棒は必ず取付けてください。
- コンセント柱には向きがあります。コンセントの取付面を確認して、施工してください。
- 柱の埋込み位置は必ずG.L.ラインへくるようにしてください。
- モルタルが固まるまでカイモノをして、柱が動かないようにしてください。
- 養生中は柱の中に雨水等が入らないようにしてください。

## 2. コンセントの取付け



- ①グロメットを配線穴にはめ込んでください。
- ②市販の防水コンセントを取付けてください。
- ③通気キャップをコンセント柱にはめ込んでください。
- ④柱キャップをはめ込んでください。

### ポイント

- 防水コンセントの取付けは、市販の防水コンセントの取付指示に従ってください。

取説コード

**E301**

JZZ620290B  
201002A\_1039  
201108C\_1039